



峯の風

学校教育目標
未来に向けて
輝く峯の子

峯小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mine/>

いじめに立ち向かった2人の勇気

副校長 田中 力

新年を迎え、学校生活が再スタートして約3週間が経ちました。この間、書初め大会（3～6年生）や昔あそび体験（1年生）、横浜・Fマリノスの皆さんによるサッカーキャラバン（2年生）、そして児童の安全を目的とした各種学習会（4～6年生）等を実施し、意欲的に学習する児童の様子を数多く見ることができました。



皆さんは「ピンクシャツデー」という日をご存知ですか？ この日は、カナダの学生が起こした行動に由来しています。

2007年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールでの話です。

9年生（中学3年生）の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、同性愛者だとからかわれたり暴行を受けたりして、耐えきれずに帰宅してしまいました。その出来事を聞いたデイヴィッドとトラヴィス。12年生（高校3年生）の彼らにとっては、その学校で過ごす最後の年でした。「いじめ

なんて、もう、うんざりだ！」「アクションを起こそう！」そう思ったふたりは、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き約80枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。

そしてその夜、学校のBBS掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけたのです。「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と。翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手に登校しました。学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に驚きの光景が広がっていました。

それは、ピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。その中には、頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。ふたりの意思は一夜のうちに広まっていたのです。ふたりがスマートフォンを使って呼びかけた人数より遥かに多く、数百人もの生徒たちがピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。

いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのです。カナダの学生たちが起こした行動が地元メディアで取り上げられると、瞬く間にカナダ全土へと広がり、アメリカのトークショーやスペイン最大の新聞でも紹介されるなどして、世界へと広がっていきました。メディアで彼らのことが紹介された翌日には、アメリカ、イギリス、ノルウェー、スイスから彼らの元へ多数の賞賛や感謝を伝えるメールが届いたといい、大きな反響があったそうです。

現在でも、カナダでは毎年2月の最終水曜をピンクシャツデーとし、この日、学校・企業・個人を含めた賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っています。



いじめには加害者や被害者の他に、自分には関係ないと思って見て見ぬふりをしている“傍観者”がいるのではないのでしょうか。しかし、もしその“傍観者たち”が他者のよくないことに対して、しっかり“No”を突き付けることができたなら…。この勇気を出すだけでもずいぶん違うと思います。本校では今年も「学校生活に関するアンケート」を実施しました。その内容を見ると、少なからず学校生活の中で嫌な思いをしたり、他者を心配したりしているという実情があることがわかりました。本校においても、いじめは最重要課題と捉えています。全教職員と在籍するすべての児童が同じ思いをもって、誰もが、安心して、高まれる学校づくりにむけたアクションを継続していくように努力してまいります。

令和5年度 保護者アンケートより

学校評価保護者アンケートのご協力ありがとうございました。
結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

設問	内容
1	授業の中で、自分の意見を伝えたり友達の考えを聞いたりしながら学び合う学習が行われている。
2	一人ひとりの伸びや成長の様子を把握し、個性や良さを伸ばす授業づくりをしていることが、面談や授業参観等を通して分かる。
3	学校は、安心して学校生活を送ることができるよう、互いによさを認め合い、偏見や差別を許さないという考え方や心情を養うとしている。
4	体育の学習や運動委員会の企画を通して、楽しみながら運動に取り組んでいることを感じられるか。
5	日々の学習や給食指導、避難訓練などを通して、健康や安全の大切さを理解して学校生活を送っていると感じられるか。
6	見通しをもって学習に取り組んだり、学習を振り返ったりして、自分自身の変容や成長を感じている。
7	全教職員が、いじめについて共通の認識をもち、丁寧な対応をしている。
8	様々な年代(様々な経験年数)の教員がいる中で、学習指導・児童指導において教員同士が連携して子どもたちと関わっている。
9	児童について多面的に理解できるよう、担任だけでなく学年の先生や児童支援専任、養護教諭、教科担任、カウンセラーなどの職員も関わっている。
10	特別支援教育の学校の取り組みや支援方法などを知っている。
11	(クローバールーム利用者のみお答えください。) 児童の実態を十分理解し、保護者と連絡を密に取りながら目標を立て指導を行っている。
12	来年度、本校が創立100周年であることが学校だよりやメール配信等で保護者、地域にもお知らせされており、それに向けた取組が校内で始まったことが分かる。
13	日頃の学習において、地域に校外学習に出かけていることや地域の人材を講師として招いた学習が行われていることがお子さんとの会話や学年だより等から分かる。
14	一人一台端末(タブレット)を効果的に活用した学習を行っている。
15	学校図書館の計画的な利用や読書活動を行っている。

数字は%

設問	A	B	C	D	E
1	29	58.5	11.2	0.8	0.4
2	27	51	17.4	3.7	0.8
3	27	55.2	14.9	2.9	0
4	36.1	52.7	10.4	0.8	0
5	30.3	61.4	7.1	0.8	0.4
6	24.5	44	26.1	5.4	0
7	16.6	43.6	35.7	3.7	0.4
8	22.4	49.4	24.9	2.9	0.4
9	24.5	53.9	19.9	1.2	0.4
10	12	29.9	41.1	13.7	3.3
11	21.2	42.4	30.3	6.1	0
12	27.8	56.4	11.2	4.6	0
13	36.9	54.8	7.1	1.2	0
14	31.1	46.5	17.8	3.3	1.2
15	29.5	50.2	16.6	3.3	0.4

- A とてもそう思う
- B そう思う
- C どちらとも言えない
- D あまり思わない
- E 思わない

16 ご意見など

41件のご意見やご感想を頂きました。たくさんのご意見ご感想ありがとうございました。

その中で何名かの方から、感染症(コロナやインフルエンザ)拡大による学級閉鎖の連絡の仕方についてのご意見がありました。今までは、当該学級または学年の保護者様にのみご連絡しておりました。それだと他学年の感染状況が分からず、学校全体でどうなっているのかが分からず不安であったとの内容でした。そこで、今後は当該学級や学年だけでなく、その都度全保護者様へメール配信にてお知らせさせていただくことといたします。

結果やご意見については、全職員で共有し、今後の本校の学校経営に生かしていきたいと思っております。今後ともご協力お願いいたします。